



指導医に恵まれた岩手県の臨床研修環境で
あなたの夢の「開花宣言」を!



いわてイーハトーヴ臨床研修病院群
IHATOV IWATE

いわてイーハトーヴ臨床研修病院群

岩手県医師支援推進室

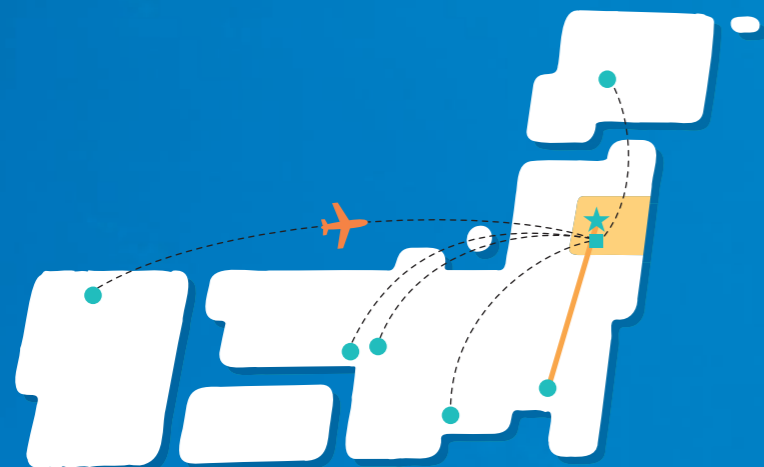
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1
TEL.019-629-6352 FAX.019-629-6354
URL.<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0365/>

岩手県

岩手県 臨床研修病院
ガイドブック

医は手 





ACCESS

■東北新幹線(はやぶさ)
東京⇄盛岡 2時間10分

■空路
いわて花巻空港
⇄札幌 55分
⇄名古屋 1時間10分
⇄大阪 1時間20分
⇄神戸 1時間30分
⇄福岡 1時間55分



県内拠点に
アクセス

--- 新幹線
--- 高速道路
--- 主要国道

※「三陸沿岸道路」は、宮城・岩手・青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトに位置付けられた復興道路です。

CONTENTS

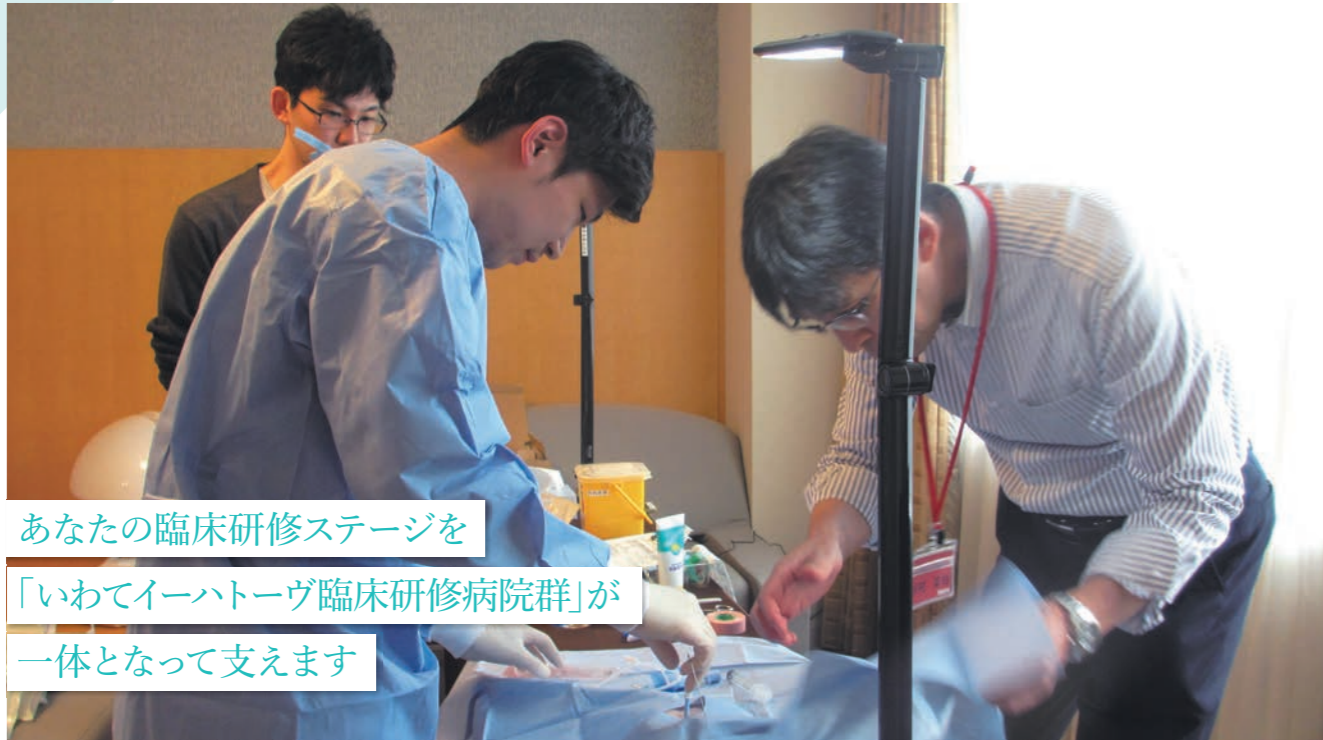
- 1 目次・アクセス
- 2 いわてイーハトーヴ臨床研修病院群概要
- 6 研修医インタビュー
- 10 指導医インタビュー
- 12 専門医制度
専攻医インタビュー
- 14 いわてイーハトーヴ臨床研修病院群
- 28 いわてガイド



いわてイーハトーヴ 臨床研修病院群

- 16 岩手医科大学附属病院
- 17 盛岡赤十字病院
- 18 岩手県立中央病院
- 19 盛岡市立病院
- 20 北上済生会病院
- 21 岩手県立中部病院
- 22 岩手県立胆沢病院
- 23 岩手県立磐井病院
- 24 岩手県立大船渡病院
- 25 岩手県立宮古病院
- 26 岩手県立久慈病院
- 27 岩手県立二戸病院

充実した指導体制による、魅力あるいわての臨床研修環境



あなたの臨床研修ステージを
「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」が
一体となって支えます

▲レジデントスキルアップセミナー

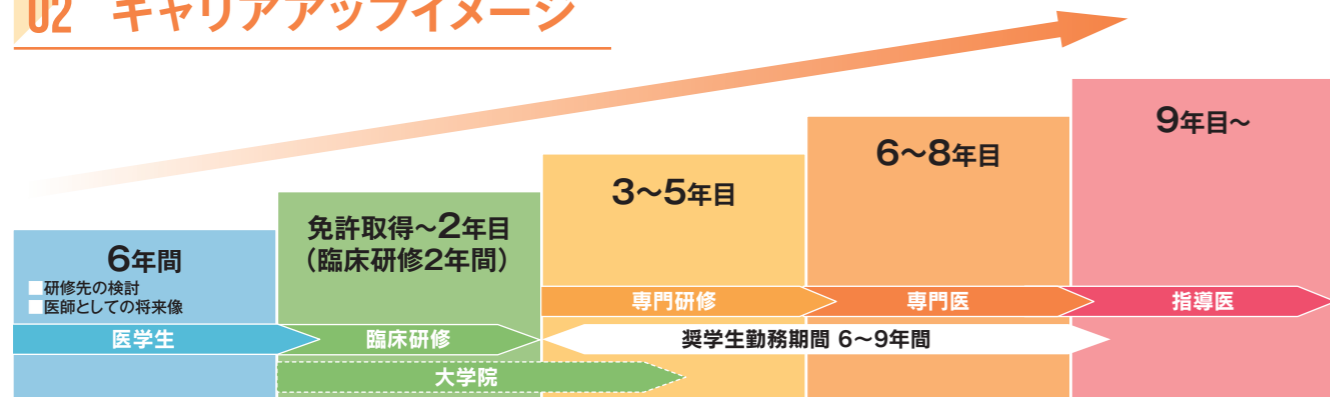
01 医師のキャリア形成に対応した取組み

各臨床研修病院の臨床研修プログラム責任者を中心に「ワーキンググループ」を構成し、県と共同して指導医講習会を開催するほか、臨床研修病院合同説明会、臨床研修医合同オリエンテーションなど、臨床研修医を受け入れる環境整備に取り組んでいます。

また、魅力ある専門研修プログラムの構築など、医師のキャリア形成に対応した育成の方向性について検討しています。



02 キャリアアップイメージ



03 全国有数の優れた指導体制

岩手県では、厚生労働省の指針に沿った臨床研修指導医講習会を、全国で初めて県主催として開催するなど、早くから指導医の養成に取り組んできました。

講習会を受講した指導医の数は令和5年4月現在で514名に上り、県内の臨床研修医との比率は、おおよそ4:1です。



指導医の状況

岩手県内12の臨床研修病院の指導医数は667名。このうち指導医講習会を受講した医師は514名（受講率77.1%/令和5年4月現在）で、充実した臨床研修指導体制が築かれています。

令和4年度は、オンライン形式で岩手医科大学と共催で開催し、ハイレベルな臨床研修指導医講習会を開催するなど、指導医の資質向上を図っています。

研修医数 (a)	指導医数 (b)	(b)のうち指導医講習会受講数 (c)	受講済み指導医と研修医の比率 (c):(a)
130名(※)	667名 (令和5年4月1日現在)	514名 (令和5年4月現在)	約4:1

※令和4年度~5年度採用者の合計人数

県別にみた臨床研修病院指導医講習会受講者数及び率(基幹型のみ)

	指導医数	受講者数	受講率
岩手県	665	532	80.0%
青森県	801	588	73.4%
宮城県	1,611	1,135	70.4%
秋田県	712	611	85.8%
山形県	700	504	72.0%
福島県	1,156	944	81.6%
東北計	5,645	4,314	76.4%

(令和4年4月1日現在、東北厚生局調べ)



▲臨床研修指導医FD ※写真は令和元年度の様子

評価が集まる特徴的な取組み

01 臨床研修医合同オリエンテーション《平成19年度からの取組み》

県内の臨床研修病院に採用された臨床研修医を対象に、臨床研修を進める上で必要な法令、規則などの知識や基本的な手技などの習得のほか、臨床研修医間のネットワーク形成を図る機会として実施しています。

毎年、4月上旬に開催し、令和5年度は69名が参加。「ドクターG」こと福井大学医学部の林寛之先生による講演のほか、他職種と触れ合うシミュレーションなどを行いました。



▲合同オリエンテーション

▲林寛之先生

02 2年次の臨床研修医を対象としたレジデントスキルアップセミナー

県内の臨床研修医（2年次）が一堂に会して、自身の基本的診療能力がこれまでの臨床研修によってどれだけ身に付いているかを確認し、その場で指導を受けることで、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に適切に対応できる診療能力のレベルアップを目的として実施しています。

また、研修医が進んで学ぶ場として、平成22年度まで実施した合同OSCE（客観的臨床能力試験）を進化させて開催しています。

令和4年度は、県内の2次研修医64名が参加し、県内外の指導医を講師に、症例検討や画像診断などワークショップにより理解を深めました。



▲レジデントスキルアップセミナー

岩手県 新・医師確保対策アクションプラン

1 医師の養成・確保及び定着対策

- ・奨学金等医師養成事業
- ・医学部進学者の増加対策
- ・奨学金養成医師の計画的な配置
- ・県内臨床研修実施の働きかけや臨床研修指導体制の充実
- ・障がい児者医療体制の充実を図る寄附講座の設置
- ・県外で従事している即戦力医師の招聘活動の強化
- ・自治医科大学卒業医師のへき地等の公的医療機関への配置

3 医師のキャリア形成支援

- ・県内臨床研修実施の働きかけや臨床研修指導体制の充実（再掲）
- ・専門研修の指導体制や専攻医の受入態勢の充実
- ・総合診療医の養成・確保の促進
- ・奨学金養成医師に対応したキャリア形成プログラムの充実

5 医師の働き方改革等に対応した勤務環境改善支援

- ・勤務環境向上支援
- ・医療勤務環境改善センター
- ・「医師の働き方改革の推進と地域医療を守るネットワークいわて」による取組の推進

2 医師偏在対策

- ・奨学金養成医師の計画的な配置（再掲）
- ・研修中の養成医師の医師少数区域の公的医療機関への診療応援や短期派遣の調整
- ・自治医科大学卒業医師のへき地等の公的医療機関への配置（再掲）
- ・地域医療支援機構によるへき地等の公的医療機関への医師派遣
- ・積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等

4 女性医師やシニア世代の医師等の多様な働き方の支援

- ・院内保育所の運営支援や短時間勤務制度の利用促進など仕事と子育ての両立を実現できる職場環境の整備
- ・職場復帰研修の実施やベビーシッターの派遣支援
- ・シニア世代の医師が働きやすい雇用形態等の整備

6 地域医療の確保に向けた働きかけと情報発信

- ・県民総参加型の地域医療体制づくり
- ・積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等（再掲）

岩手県の医療環境

01 全国随一の公的医療機関のネットワーク

岩手県では、県立病院20病院、地域診療センター6施設を設置しているなど、全国随一の公的医療機関のネットワークを構築しています。

こうした環境を生かし、各臨床研修病院では訪問診療を組み込むなど、充実した地域医療研修メニューを設定しています。



▲特定機能病院岩手医科大学附属病院

02 高度医療施設、最新の医療機器

岩手県には、特定機能病院として岩手医科大学附属病院、同じく岩手医科大学には、全国で7番目に認定された岩手県高度救命救急センターなど、高度医療施設が設置されています。

救急分野では、岩手県高度救命救急センターのほか、県沿岸部の県立大船渡病院及び県立久慈病院に救命救急センターが設置されています。また、各病院には最新鋭の医療機器が導入され、高度な医療を提供する体制が整備されています。



▲ドクターヘリ

- ※1 平成20年4月末修了者1名を含む
- ※2 平成25年2月末修了者を含む
- ※3 平成28年7月修了者1名を含む
- ※4 平成27年9月及び平成28年1月の中途受入2名を含む
- ※5 平成31年4月修了者1名を含む
- ※6 令和元年5月の中途受入1名を含む
- ※7 令和3年9月修了者2名を含む
- ※8 令和4年6月修了者1名、令和4年9月修了者1名を含む
- ※9 令和3年11月中途受入1名を含む

県内臨床研修医の動向など（県内勤務等者数及び比率）

区分	受入年度	(参考) H15	H16 臨床研修必修化	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
臨床研修医(受入)		38名	58名	65名	76名	57名	66名	74名	69名	68名	67名	61名
a: 研修修了者		(H18.3) 54名	(H19.3) 65名	(H20.3) 75名 ※1	(H21.3) 56名	(H22.3) 66名	(H23.3) 73名	(H24.3) 69名	(H25.3) 68名 ※2	(H26.3) 67名	(H27.3) 61名	
b: うち県内勤務等者		44名	56名	62名	44名	55名	57名	59名	58名	51名	43名	
b/a: 県内勤務等率		81.5%	86.2%	82.7%	78.6%	83.3%	78.1%	85.5%	85.3%	76.1%	70.5%	
区分	受入年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
臨床研修医(受入)		67名	77名	67名	70名	76名	75名	61名	67名	61名	69名	
a: 研修修了者		(H28.3) 67名 ※3	(H29.3) 79名 ※4	(H30.3) 66名	(H31.3) 71名 ※5	(R2.3) 76名 ※6	(R3.3) 76名 ※7	(R4.3) 58名 ※8	(R5.3) 68名 ※9	-	-	
b: うち県内勤務等者		56名	60名	50名	53名	56名	49名	58名	-	-		
b/a: 県内勤務等率		83.6%	75.9%	75.8%	74.6%	73.7%	85.5%	84.5%	85.3%	-	-	

勤務医の勤務環境向上支援の取組み

■勤務医の勤務環境向上支援の取組み

産科医、新生児担当医確保、救急勤務医支援、中核病院の病診連携、院内保育（夜間、病児等保育）事業などへの支援を行います。

■女性医師の就業支援の取組み

岩手県では、平成19年から「女性医師就業支援事業」を実施し、育児支援、職場復帰研修の取組みを推進しています。

●育児支援事業

就学前の乳幼児を子育て中であって、県内の医療機関に勤務する女性医師を対象とし、勤務形態に合わせて保育にあたる者（ベビーシッターなど）を確保するなどの支援を行います。

●職場復帰支援事業

育児などのために離職し、その後に復帰（再就業）を希望する女性医師で、岩手医科大学での研修を希望する方に対し、離職時の就業状態及び離職期間に応じた研修を行います。

多くの出会いで広がる 人の繋がり

自ら動いて成長を

見学時に臨床研修医が活躍する姿を見て、中央病院は積極的に診療に関わりながら、多くを学ぶことができる場所だと確信しました。同期は出身大学もいろいろな15人。目的を持って集まってきた同期と教え合い、頼り頼られながら、良い刺激を受けています。若いレジデントの先生の姿を見るだけでも勉強になるし、たすぎがけで来る臨床研修医も多く、「人の繋がり」が広がります。学生時代は教材や試験をクリアすれば十分でしたが、社会人になると試験もないので、自分から積極的に仕事をもらいに行かないと成長できません。自ら動いて、得る。その環境は整っています。

ほんま けいじゅ
本間 圭樹

山形県山形市出身 1995年生まれ
東北大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立中央病院



しっかり学び、働くために 環境の選択は大切です

高い自由度を活用

学生時代から慣れ親しんだ環境であること、研修プログラムの自由度が高いことから岩手医科大学附属病院を選びました。私はまだ未熟なところが多いので、大学病院で診る専門性の高い疾患の前にオーソドックスな病気や出産を診ることが大事だと考えて、たすぎがけを利用して盛岡赤十字病院の小児科・産婦人科・総合診療科に行きました。進みたい分野が決まったら、大学病院ですらに学びたいと思っていますし、大学院にも所属していて研究の分野でもできることを増やしたいという希望があります。臨床研修医として2年間、しっかり学んで働くためには、自分の性格もよく考えて病院を選ぶことが大事だと思います。

わたなべ みどり
渡邊 翠

愛知県名古屋市出身 1993年生まれ
岩手医科大学卒
臨床研修病院：岩手医科大学附属病院



志望診療科を見据えた サポートが得られる環境

丁寧な研修医対応

見学時に雰囲気が好きだったのと診療科が多いことが、ここでの研修の決め手になりました。同期は全部で8人。たすぎがけで他病院から来て、さらに増えることも。人数が多いと、先に回った人に科の状況を聞いたり、自分の所見を伝えたりと情報を共有できるメリットがあります。皮膚科志望と表明していたので、病棟を回った際は皮膚科のものを見せてもらい、救急科からは「火傷の患者さんが来たよ」と教えてもらうなどの機会も与えられました。私は今後の予定をかなり早めに決めましたが、ギリギリになっても先生方は優しくサポートしてくれます。岩手は臨床研修医対応がとても丁寧と感じるので、研修にはおすすめです。

そま ゆうり
杣 悠理

岩手県盛岡市出身 1997年生まれ
秋田大学医学部卒
臨床研修病院：岩手県立磐井病院



自分が望む密度とペースで 徐々に力をつけています

科を越えて連携

先生方と病院全体の雰囲気が自分の肌に合うと感じ、ここで臨床研修のスタートを切りました。科の垣根が低く、先生方の連携がとても深いと感じます。熱心な指導を受け、手技もたくさんやらせてもらいました。久慈病院は自分のやりたい密度とペースで、心身ともに健康的に研修できるのがありがたいです。研修を通じて、目の前にある情報だけで判断せず自分で考える力がついてきたかなと思います。また、医師は人と人との関わりの中にあり、周りの人とどうコミュニケーションをとっていくかが大切だということも学びました。病院の一員として貢献しながら、知識と経験を身につけ、どんなときも落ち着いて対応できる医師を目指します。

すがわら ひろし
菅原 寛志

岩手県宮古市出身 1998年生まれ
自治医科大学卒
臨床研修病院：岩手県立久慈病院



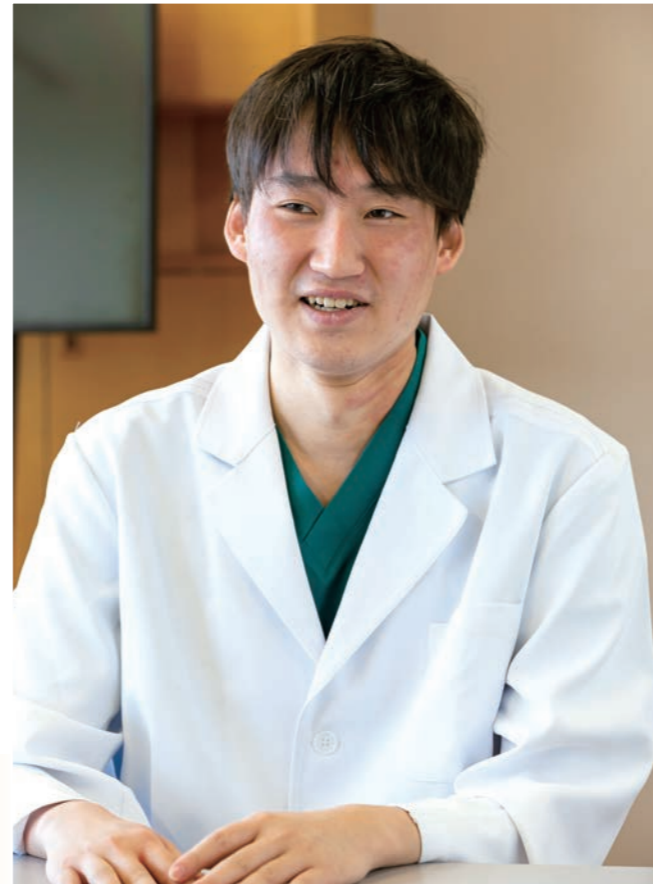
少人数の体制で経験を積み やりがいを感じています

助言が気づきに

少人数制の研修体制であればコミュニケーションが取りやすいと考え、宮古病院を研修先を選びました。先生方の指導は丁寧で手技も多く経験させてもらい、できることが増えてきました。患者さんと話す機会も増え、感謝の言葉をもらおうと嬉しく、やりがいに繋がります。宮古病院には「これを学びたい」という自分の意思で科を選んで回れるメリットがあります。一方で、上の先生から「これは重要だから取り組んでみて」と言われて学ぶ場面では、自分では気がつかないことに気づくことができ、成長する機会になりました。その経験から、自分で動く主体性とアドバイスを受け取る受容性のどちらも大切だと感じています。

みやかわ まさし
宮川 聖史

岩手県盛岡市出身 1995年生まれ
岩手医科大学卒
臨床研修病院：岩手県立宮古病院



コモンから急性期まで 幅広い経験が可能です

親身な指導に感謝

科が豊富な中部病院なら、1つの病院でみっちり研修できると考えて研修先を選びました。救急や当直などのファーストタッチは研修医がしますが、方針に迷うときは親身に教えてもらい、先生のほうから「大丈夫？」と声をかけてもらったりと、安心して働ける環境がありたいです。今は地域医療研修で東和病院にいます。ここは先生や看護師の数も少ないので、皆で1つになって、という感覚が強いように感じます。科を問わず、そばにいる先生に尋ねると、丁寧に教えてもらえます。岩手では地域の病院から大学病院まで、コモンディーズから急性期の症例まで幅広く経験できるのがメリット。どちらも経験できて良かったと思います。

とば ゆき
鳥羽 有紀

岩手県盛岡市出身 1997年生まれ
岩手医科大学卒
臨床研修病院：岩手県立中部病院



優しく熱心な指導のもと 実践に臨んでいます

積極性を大切に

救急診療科が強い大船渡病院で救急の初期対応を学び、緊急時に動けるようになりたいと考え、研修先を選びました。どの先生も熱心に指導してくれますし、看護師や放射線技師、薬剤師など、他職種の皆さんも優しいので、毎日、頼りにしながら研修しています。「やりたいです」と積極的に手技や診療にトライし、チームの一員として関わる中で自分の勉強不足を感じ、「もっと勉強しなければ」とモチベーションが上がってきました。患者さんに寄り添い、しっかり話を聞いて、それに合った医療ができる優しい医師でありたい。同時に、常に探究心を持ち、緊急時も冷静な医師に、という目標に向かって、今のうちにたくさん吸収したいです。

あらかや しづか
荒屋 禪

岩手県大槌町出身 1996年生まれ
岩手医科大学卒
臨床研修病院：岩手県立大船渡病院



1期生として貪欲に学び 多くの経験を積みました

研修なら岩手で

盛岡市立病院の臨床研修医1期生ということもあって、自分からお願いし、さまざまな経験をさせてもらいました。3つの研修プログラムから外科集中コースを選択して1年目に4カ月回った中で、たくさん手術に入り、執刀もしました。当直は宮古病院にお願いし、土日を使って月2回ほど経験させてもらっています。母校での実習のときに岩手で研修した先生から、「いろいろ経験できるのが岩手県だ」と聞いていた通りです。また、患者さんが優しく、患者さんに育ててもらえる環境だと思います。外科系を目指していますが、内科系でもしっかり学ぶことが、自分の将来にとってプラスになると感じています。

かいが としゆき
海賀 俊征

栃木県上三川町出身 1982年生まれ
東北医科薬科大学卒
臨床研修病院：盛岡市立病院



たすきがけ研修を利用して
多くの先生との出会いを



結びつき助け合う

岩手で研修する良い点は、臨床研修医1人で診ることができる症例数が、とにかく豊富だということです。医師の数が少ないので、自然とそうなります。自分がいないと成り立たないという状況は責任感を生み、成長に繋がります。また、総合的な見方と専門家的な見方のバランスもいい。都会の大病院のように専門分化しては診察できません。循環器内科で脳梗塞を診る、消化器内科で肺炎を診るというふうにカバーする中で、研修医は広くプライマリケアを学びます。

研修病院がリンクして互いに補い合い、結びつきが強いのも特徴です。指導医同士も顔見知りですし、臨床研修医も同窓会のようになれる。医療は繋がりが大切ですから、その形成にも役立ちます。

まいた しんや
米田 真也
岩手県立胆沢病院
医療研修科長
泌尿器科医長
兼総合診療科医長

2004年 秋田大学医学部卒業
2004年～ 岩手県立胆沢病院
2006年～ 秋田大学医学部附属病院
2007年～ 岩手県立胆沢病院
2008年～ 秋田大学医学部附属病院
2009年～ 由利組合総合病院
2010年～ 秋田大学医学部附属病院
2012年～ 岩手県立胆沢病院

50年先を見据えて

胆沢病院の研修は、ひと言で言うと実践的。「手技の胆沢病院」「手と足を動かす胆沢病院」と言っています。臨床研修医は学生の延長になりやすいものですが、国家試験に合格した瞬間から医師になるのです。そのプロ意識を早くから持ってもらうために教育します。最初は手取り足取りにならざるを得ませんが、徐々に程よい距離を取っていき、個々の到達度を見ながら課題を与えます。自分でやってみる、何かに向かうという経験をしなければ始まらない。また、常に見てくれる人がいると、いつまでも責任感に身が付きません。そうやって研修が終わる頃には、だいたいことは任せられるようにします。

研修医に対しては、しっかり振り返りをしながら自ら学ぶことを求めています。いろいろなことが勝手に降ってくるわけではないのだから、待っていないで自分で取りに行くことが大事です。入ってきた時点で、その姿勢がないとダメだし、2年間で確実に自分のものにしてほしい。そうでないと、医者はやっていけません。

できることが増えると、教えてくれる人はいなくなる。でも、満足していたら、終わりです。学ぶことを自ら見つけて知識をアップデートし、自分でトレーニングをしていく。そうやって40年、50年先を見えないと……。知識や技術だけでなく、学び続ける方法を教えるのが初期研修における私たちの仕事だと考えて取り組んでいます。

地域医療と高度な医療を
バランスよく学べます



たすきがけの活用を

岩手県における臨床研修では、地域の病院で、あるいは岩手医科大学附属病院や県立中央病院のような、より専門性、先進性の高い病院で研修したいなど、臨床研修医の先生方の考え方に応じたプログラムの提供が可能です。

「たすきがけ」のシステムで県内12の臨床研修病院を移動し、十分なトレーニングが受けられ、必要な経験を積むことができます。将来専門医等としてのキャリアビジョンを達成する一助として、たすきがけ研修を活用しながら学んでほしいと思います。

たすき ゆうじ
鈴木 悠地

岩手医科大学医学部
内科学講座
リウマチ・膠原病・
アレルギー内科分野
特任講師

2011年3月 岩手医科大学医学部卒業
2011年4月 岩手県立二戸病院(臨床研修医)
2016年3月 岩手医科大学医学研究科卒業
(博士課程)
2016年4月 岩手医科大学医学部
内科学講座
消化器内科肝臓分野 助教
2022年4月 岩手医科大学医学部
内科学講座
消化器内科分野 特任講師
2022年6月 岩手医科大学医学部
内科学講座 リウマチ・膠原病・
アレルギー内科分野 特任講師

キャリアを見据えて

岩手医科大学附属病院は、県内でも最も各診療科の専門医が集まっている専門集団です。お約束できることが4点あります。まず、その分野でのトップレベルの情報や教育レベルを提供できること。次に、診療科が揃っていて、どの科に進むにしても充実した研修が受けられること。そして、基本的に臨床研修プログラムの決定権を研修医に委ねているので、個々の考えに基づいて選べること。

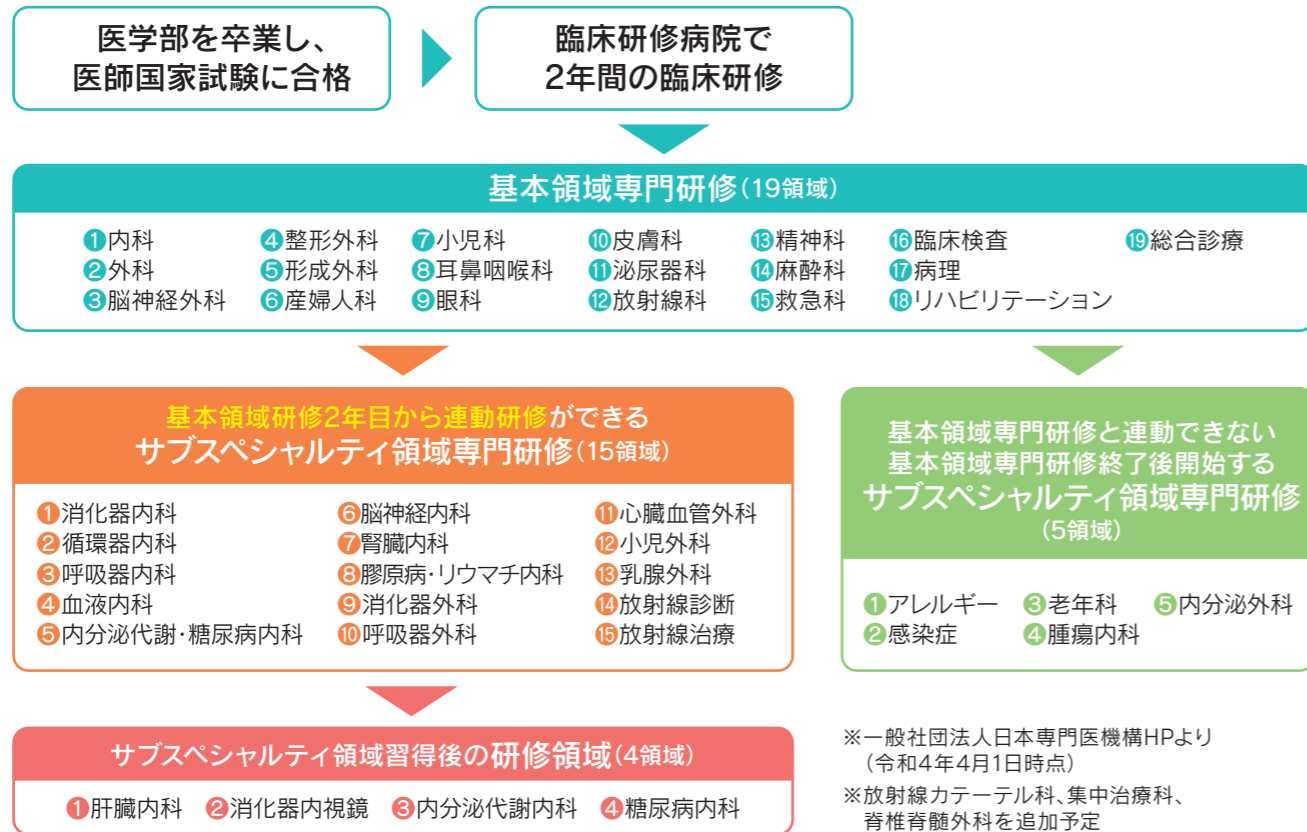
最後が、最も強調したい点です。医療は日進月歩で、ここ10年くらいで再生医療や遺伝子治療など、以前はなかった治療が行われるようになってきました。そうした高度な医療を必要とする患者さんを実際に治療し、フォローアップする現場を経験できる環境があるのが、岩手医科大学附属病院だということです。

地域の病院には、地域の特性があります。高齢の患者さんが多く、医療だけでなく介護まで含め、地域でどのように包括的に提供していくかといった問題点を知ることができるのも岩手のメリットです。そのように、研修医として地域の医療やコモンな病気にふれる一方で、ある程度、専門化したところもバランスよく見てほしいと思っています。その上で自分がどうしたいかを軸に、自分の考えに基づいて選び、現場に還元していただければ……。私たちは常に、自身のキャリアを見据える臨床研修医の皆さんをサポートしていきます。

01 新しい専門医制度について

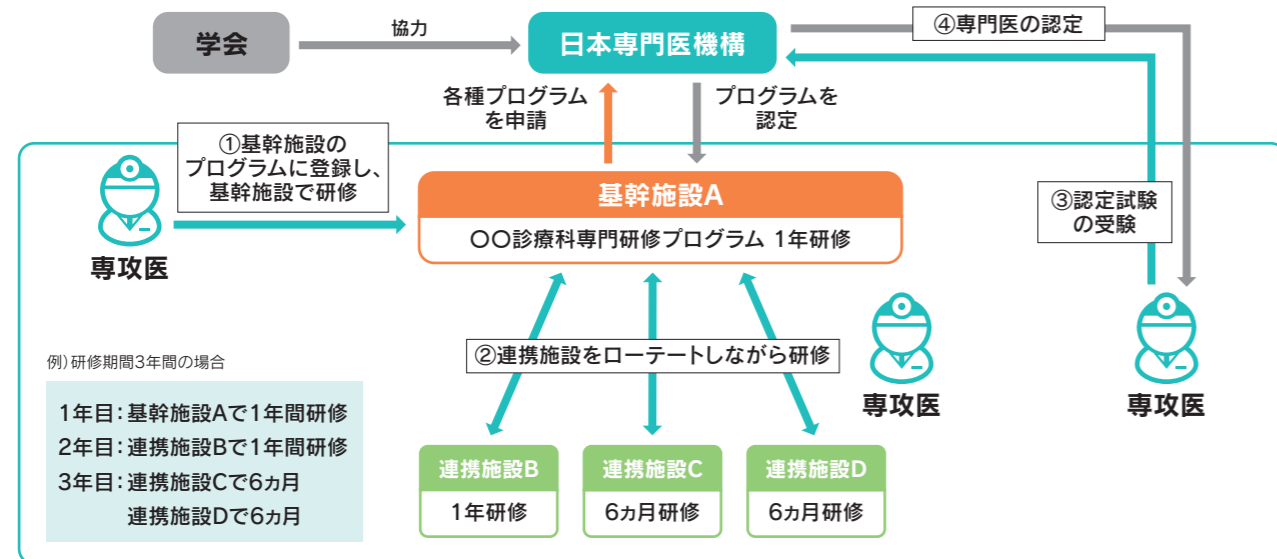
平成30年4月に開始された新しい専門医制度では、医師国家試験に合格し臨床研修(2年間)を終了した後、希望する基本領域ごとに基幹施設の専門研修プログラムで定める期間、「専門研修」を行うことになります。

専門研修は、基幹施設と連携施設をローテートして研修を実施します。



日本専門医機構が指導医数、症例数、研究実績等の基準を満たす基本領域専門研修プログラムを認定し、専攻医は基幹施設・連携施設とローテートして研修します。

<イメージ図>



専攻医インタビュー

臨床を離れず 家庭も子育ても

ただ つくし
玉田 春紫

専攻医

静岡県静岡市出身 1991年生まれ
東京女子医科大学卒
臨床研修病院:岩手県立中央病院



自分の経験を生かして

臨床研修期間中に結婚し、妊娠・出産を機に、自分の経験を生かしたいと考えて産婦人科に決めました。もともと女性に寄り添える科で、と考えていましたが、経験を通して初めてわかることがあり、患者さんの立場に立てると実感しています。

夫が今年から大船渡病院に勤務しているので、一緒に子育てをしながら仕事をするため、中央病院に所属しながらレジデントで大船渡病院にいます。中央病院の産婦人科には、どこの病院で何カ月間勤務するかを選択できるプログラムがあるので、それを活用しました。研修医を終えたあと、医師として非常に重要なステージを迎えますが、私は家庭と子育てに重きを置きながら臨床を離れない、という選択をしました。

後輩のロールモデルに

専攻医の3年間は、家庭やプライベートでも大切な時期に重なることも多いと思いますが、臨床の場を一度完全に離れると戻るのには難しいと感じています。私は夫の協力、県立病院の保育園の充実、周りの先生の理解のもとで働き続けることができます。

気仙地区の周産期医療を大きく担う大船渡病院は中央病院とも違った環境で、その意味でも学ぶことが多いです。プライベートを諦めることなく症例や経験を積み重ね、些細なことも相談してもらえる、患者さんに寄り添える医師になりたいです。専門医を目標にコツコツと研鑽を重ね、将来は後輩のロールモデルになれたらと思っています。



いわてイーハトーヴ 臨床研修病院群とは

岩手県内12の臨床研修病院が「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」としてスクラムを組み、各病院の指導医が緊密に連携しあい、臨床研修体制の充実、環境整備に向けた一体的な取組みを行っています。



岩手県内の臨床研修病院

盛岡

- 1 岩手医科大学附属病院
- 2 盛岡赤十字病院
- 3 県立中央病院
- 4 盛岡市立病院

岩手中部

- 5 北上済生会病院
- 6 県立中部病院

胆江

- 7 県立胆沢病院

両磐

- 8 県立磐井病院

気仙

- 9 県立大船渡病院

宮古

- 10 県立宮古病院

久慈

- 11 県立久慈病院

二戸

- 12 県立二戸病院

01 たすきがけ研修について

岩手県では、県内12の臨床研修病院が「すべて相互の臨床研修病院」となっています。これにより、病院間相互の強みを生かし、岩手県内どの病院でも研修が可能となる「たすきがけ研修体制」が実現しています。

自身の研修病院に腰を据えて学びながらも、その病院にはない診療科や、学んでみたい指導医のもとで研修を行い、経験の幅を広げることができます。毎年100人弱の臨床研修医が本制度を利用しています。

各病院プログラムのたすきがけ研修ルール

岩手医科大学附属病院	原則4週間単位で、最大52週可 (52週は地域医療研修及び総合診療科を含む)	県立胆沢病院	必修診療科は8週まで、 選択診療科は12週まで派遣可能
盛岡赤十字病院	・当院必修研修終了後に派遣する ・2年次の最終2ヶ月は院内研修とする ・最大3クール:12週の派遣が可能	県立磐井病院	2年次に3ブロック(12週)まで派遣可能
県立中央病院	原則、中央病院にない診療科・診療領域	県立大船渡病院	自由に派遣可能だが、 他研修医とのバランスをみながら時期等を検討
盛岡市立病院	自由に派遣可能	県立宮古病院	指導医と相談のうえ、12週程度を目安に派遣可能
北上済生会病院	基幹病院52週以上、協力施設12週以内、 それ以外は自由に派遣可能	県立久慈病院	原則4ヶ月派遣可能
県立中部病院	当院で研修できない内容は、 自由選択期間で最大12週分派遣可能	県立二戸病院	自由選択期間中、基本的には自由に派遣可能 (要調整)

02 各病院の臨床研修アピールポイント

岩手医科大学 附属病院 p16へ	研修医の実情にあわせた自由度の高い臨床研修が可能。臨床研修医向けの検査手技レクチャーや各種セミナーも充実	県立胆沢病院 p22へ	ひとつの診療科を長めにローテートすることで、責任ある医療を経験する。多くの手技を経験できる。
盛岡赤十字病院 p17へ	①コメディカル研修を取り入れたチーム医療の実践 ②救急症例の初期対応から慢性期診療までプライマリケアの経験 ③診療科の垣根を超えた相談しやすい環境	県立磐井病院 p23へ	①手技に積極的、執刀も! ②上級医との(良い意味での)近さ ③新幹線へのアクセスのよさ ④綺麗な施設、宿舎も完備
県立中央病院 p18へ	診療科が多く、経験症例数が豊富。出身大学も多彩で、お互いに刺激し合える環境が当院にはあります。また、救急センターで初療を行える診療能力を修得できます。	県立大船渡病院 p24へ	①軽症から重症まで幅広く、基本的な救急対応を学べます! ②上級医の先生方と距離が近く、相談しやすい環境!
盛岡市立病院 p19へ	必修科目終了後に「自由選択コース・消化器内科コース・外科コース」のいずれかを選択でき、市中病院での多様な豊富な症例を経験できます	県立宮古病院 p25へ	広大な宮古医療圏最後の砦。幅広い症例を経験しながら、地域を見渡す視点も養うことができます。そして、少人数ならではの手厚い指導!
北上済生会病院 p20へ	①新病院である ②定員少数によりマンツーマンでの指導が可能 ③小児科・整形外科等の症例が豊富 ④家賃(光熱水費込み)が格安	県立久慈病院 p26へ	救命救急センターを併設し、一次から三次救急まで受入れています。プライマリケアから専門医療まで幅広く学ぶことができます。
県立中部病院 p21へ	基本手技は研修医の役目。当院での研修経験は、3年目になって実感を保証!	県立二戸病院 p27へ	募集5名の少数精鋭だからこそ出来る研修があります!!

03 病院見学について

岩手県では病院見学にお越し頂いた医学生のみなさんに、往復の旅費を支給しています。申し込みは各臨床研修病院のホームページからも可能ですが、複数病院を見学するツアーを希望する方には、病院間の見学日程を岩手県医師支援進室が間に入って調整することもできます。一度にいくつかの病院を見学したいけど調整どうしよう…という方、迷わず岩手県医師支援進室へご連絡ください。

岩手県医師支援進室

☎ 019-629-6351

✉ EA0006@pref.iwate.jp

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0365/rinsyo/appli/index.html>



いわてイーハトーヴ臨床研修病院群公式Instagram始めました!フォローお願いします。

@iwate.ihatov.rinsyoukensyu

01 盛岡 岩手医科大学附属病院

誠の精神に基づく、誠の医療の実践

01 病院データ

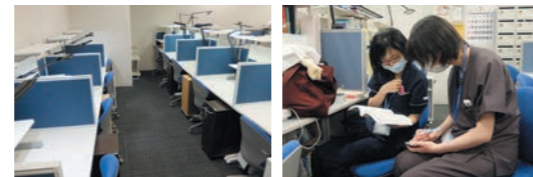
標榜診療科	47科
病床数	1,000床
医師数	222人 (常勤/2023年4月1日現在)



宿舎

当院の宿舎(レジデントハイム)は、大学と病院のほぼ中間に位置しており、病院へは戸外に出ることなく行き来することができ、通勤に係るストレスはフリーです。

研修室の様子



02 病院の特色

令和元年9月、病床数1,000床、手術室20室を備える国内最大級規模の病院に移転しました。県内唯一の特定機能病院として高度で先進的な医療を提供する一方、岩手県高度救命救急センターやドクターヘリの運行など、地域の救急医療にも貢献し、総合周産期母子医療センター(MFICU、NICU)、都道府県がん診療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、岩手県認知症疾患医療センターなど、様々な拠点病院として地域医療の中核的役割を担っています。

03 研修の特徴

募集人数 40人

岩手県唯一の大学病院である当院では、各専門診療科のバックアップ体制のもと、より深くより広く思考する科学的姿勢を身に付けることができます。指導医数・症例数も豊富で、研修医の身近に各分野のエキスパートが数多く存在することが、最大の教育的特色です。また、診療能力の向上のため、主要各科によるコアレクチャーや臨床研修医のための症例検討会、CPC、など多彩な教育セミナーを実施しています。さらに、当院臨床研修プログラムの特徴として、選択科目の研修期間が45週あり、自由にローテートを組むことができます。協力病院・協力施設は県内外に40施設あり、52週を限度に院外での研修が可能です。また、多くの専門医・認定医の研修施設認定を受けていることから、専門医・認定医を視野に入れた研修が可能です。平成30年度に始まった新専門医制度においても、すべての基本領域での研修が可能です。



手術風景



オリエンテーション風景



ドクターヘリ

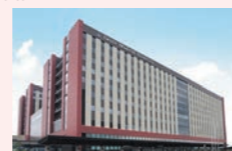
04 研修プログラムの一例

1年次	オリエンテーション	内科	救急	外科	小児	産科	婦人科	総合診療	病理
	2週	20週	8週	4週	4週	4週	4週	4週	1週

2年次	選択研修	精神	地域医療	選択研修(院外)	選択研修
	8週	4週	4週	20週	17週

岩手医科大学附属病院

〒028-3695 紫波郡矢野町医大通2-1-1
 TEL/FAX 019-907-7764
 E-mail resident@j.iwate-med.ac.jp
 問い合わせ先 研修センター事務局
 HP https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/resident/
 院長 小笠原 邦昭



02 盛岡 盛岡赤十字病院

急性期医療を中心に、地域医療の充実に努めます

01 病院データ

標榜診療科	23科
病床数	398床
医師数	55人 (常勤/2023年4月1日現在)



宿舎

なし
住宅手当:
毎月28,500円(上限)

研修室の様子



02 病院の特色

盛岡市南部に位置する当院は、市内だけでなく近隣の市町村からの患者を幅広く受け入れ診療にあたっています。23科にわたる各診療科は岩手医科大学附属病院などとも連携し、質の高い医療の提供に努めています。また、日本赤十字社の基本理念である「人道・博愛精神」に基づき、救急医療・災害医療にも力を入れており、東日本大震災の経験を活かした災害時救護活動などを行っています。

院内に「常に向上心を持って、患者様中心の医療を提供する」という文化が根付いており、院内研修会や症例検討会、勉強会なども活発に行われています。

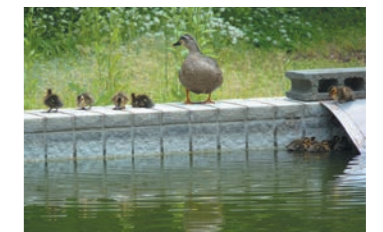
03 研修の特徴

募集人数 8人

1年次研修は約4週間の院内オリエンテーションから始まり、研修前半は内科系研修を中心として、全般的診療能力の習得に努めます。2年次研修医や上級医との救急外来での診療を通じ、プライマリーケアの実践を積むとともに、画像所見の読影、超音波検査手技などのショートレクチャーを適宜行うことで、短期間で立ち上がるためのスキルアップを図ります。また、種々の診療科横断的検討会(救急症例、病理解剖症例など)により、多角的視野からの症例アプローチ法を学び、バランスのとれた臨床能力の獲得に努めます。

研修プランは臨床研修医の皆さんの希望を最大限に取り入れることができるよう柔軟に対応し、県内外の医療機関との連携により幅広い研修プランを組むことが可能です。

盛岡市は自然、商業、文化が調和した魅力ある街です。交通の利便性も高く、各種学術集会、研究会などへの参加も容易です。恵まれた環境で皆さんと共に学んでいけることを、スタッフ一同、楽しみにしています。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	総合診療科	内科	小児	産科	外科	麻酔	救急
	4週	8週	16週	4週	4週	8週	4週	4週

2年次	救急	地域+在宅	精神	自由選択
	4週	8週	4週	36週

盛岡赤十字病院

〒020-8560 盛岡市三本柳6-1-1
 TEL 019-637-3111
 HP http://www.morioka.jrc.or.jp
 E-mail kensyu@morioka.jrc.or.jp
 院長 久保 直彦



03 盛岡 岩手県立中央病院

高度急性期医療を推進する
県民に信頼される親切であたたかい病院

01 病院データ

 標榜診療科	28 科	 宿舎	徒歩1分 家賃1万円程度
 病床数	685 床		
 医師数	216 人 (常勤/2023年4月1日現在)		

研修室の様子



02 病院の特色

当院は、急性期高機能センター病院として先進・高度・特殊医療機能と臨床研修病院としての教育・研修機能、医療情報機能など、県立病院の中心的役割を担っています。また、地域医療確保のための診療応援を行うとともに、がん化学療法科やセカンドオピニオン外来、女性外来など、時代のニーズに応じた専門外来があります。高度先進医療への取組みを充実させ、多くの県民の皆さまに医療を提供するため、地域医師会と協力し医療連携を推進するとともに、回復期の患者さんには早期退院をすすめ、次の入院患者さんの待ち時間の短縮に努めています。

03 研修の特徴

募集人数 19 人

当院は臨床研修制度必修科前から、スーパーローテート研修を行ってきました。その長い歴史から、病院全職員で臨床研修医を育てる環境が整っています。特徴のひとつに、1・2年次研修医が中心となって、指導医とともに行う屋根瓦式救急研修体制があります。臨床研修医+内科当直+外科当直+脳当直+循環器当直+ICU当直+小児当直(小児輪番日のみ)のほか、全科オンコール体制をとって臨床研修医の救急研修のバックアップを行います。年間約21,000名の救急患者のほぼ全例の診療に臨床研修医があたり、軽傷から重症まで幅広く初期診断、初期治療を実施する適切な判断能力を取得できます。AHAのBLS資格の取得も可能、院内ACLSやPMLS講習会を受講し、救急診療に必要な知識や技術を学ぶ機会に恵まれています。また、高度医療においても症例数に富んでおり、研修医の探究心に応えるだけの症例と専門性を備え、熱心に指導する指導医が揃っています。



縫合実習の様子



毎日行われる救急症例振り返り



消化器外科の手術ビデオカンファ

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ (内科)	選択	麻酔	自由選択	産婦	救急	
	4週	12週	4週	20週	4週	4週	
2年次	地域	小児	総診	救急	自由選択	精神	選択
	8週	4週	4週	4週	20週	4週	4週

岩手県立中央病院

〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号
TEL 019-653-1151
FAX 019-653-2528
E-mail gyomu@chuo-hp.jp
HP http://www.chuo-hp.jp/
院長 宮田 剛



04 盛岡 盛岡市立病院

都市型地域医療・消化器系研修充実
メンタリング制度

01 病院データ

 標榜診療科	17 科	 宿舎	なし その分、令和3年度 に基本給を上げて対 応しています。
 病床数	268 床		
 医師数	33 人 (常勤/2023年4月1日現在)		

研修室の様子



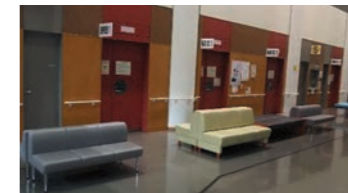
02 病院の特色

当院は、17診療科を有する総合病院として、外来、入院、急患に対応するとともに、岩手医科大学附属病院や地域の開業医との連携を重視した地域医療支援病院としての役割を担っています。消化器・栄養センターでは急性/亜急性期の患者さんを中心に診療を行っています。内科領域では内視鏡治療やIVR、外科領域では腹腔鏡下手術、各種の消化器がん疾患 に対して低侵襲治療を中心とする高度な医療を提供し、積極的に早期回復・退院を進めています。一方、地域医療貢献として回復期に時間を要する患者さんには、地域包括ケア病棟による在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療を積極的に行っています。盛岡市周辺地域にとって「なくてはならない病院」となるよう職員一丸となって努力してまいります。

03 研修の特徴

募集人数 4 人

当院の研修制度は、7科目の必修科目終了後に「自由選択コース・消化器内科コース・外科コース」のいずれかを選択して研修します。救急医療、地域医療、小児科、産婦人科は主に岩手医科大学附属病院や盛岡赤十字病院などでの研修を予定しています。また、当院は岩手医科大学への通学も容易な位置にあることから、岩手医科大学社会人大学院生を積極的に受け入れます。臨床研修後は、専攻医として当院に勤務、もしくは岩手医科大学の各医局への入局が主な選択肢になります。研修医募集定員は4名です。消化器内科コース、外科コースでは、将来消化器内科医、もしくは消化器外科医を志す臨床研修医を積極的に支援します。消化器内科、外科領域の認定医、専門医取得を目標とするきめ細やかな指導を目指していますので、全国学会発表、論文作成も含む少人数制の実践的研修プランと考えてください。当院ではメンタリング制度を導入しますので、臨床研修医はメンティーとしてメンターに研修内容、研修後の進路など、なんでも遠慮なく相談してください。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科(一般)	24週以上	救急	精神	麻酔	外科	小児
	2週	当直・救急係	4週	4週	4週	4週	4週	4週
2年次	産婦人科	地域	自由選択	消化器内科	外科	36週以上	選択	
	4週	4週	当直・救急係			4週		

盛岡市立病院

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15番1号
TEL 019-635-0101
FAX 019-631-1661
E-mail hosp.soumu@city.morioka.iwate.jp
HP https://www.morioka-city-hosp.jp
院長 加藤 章信



05 岩手中部 社会福祉法人 北上済生会病院

「施薬救療」の精神のもと、
親切な医療を行います

01 病院データ

標榜診療科	21科	宿舎	研修室の様子
病床数	224床	家賃(光熱水費込み) 10,000円	
医師数	24人 (常勤/2023年4月1日現在)		

02 病院の特色

済生会グループの施設として1936年4月設立以来、地域医療に貢献し生活困窮者への減免診療を行うとともに、急性期医療にも積極的に取り組んでいます。また、周産期医療では県南部の中心的役割を担っているほか、回復期リハビリテーション、保健予防活動等にも力を注ぎ、地域に信頼され愛される病院として良質な医療の提供を目指しています。

2020年11月には新病院に移転し、院内に北上医師会事務所や開放病床及び病後児保育施設を設置するなど、市や医師会等と一体となり岩手中部医療圏の中核病院として患者様の毎日に寄り添う病院を目指しています。

03 研修の特徴

募集人数 4人

1. 個々の目標に沿った臨床研修医育成に 適した、柔軟な対応が可能である
2. 二次救急指定病院であることから、急性期から回復期まで多様な症例が経験できる
3. 県内の各臨床研修病院と協力体制を作りながら、臨床研修医間の情報交換も図ることのできる環境にある
4. 協力病院の中に同一グループの済生会横浜市東部病院が含まれており、国内最大の社会福祉法人【済生会】のスケールメリットを活かした研修が可能である
5. 済生会総会・学会に合わせて毎年開催される1年次臨床研修医全員を対象とした合同セミナーに参加し、済生会の規模を実感するとともに、歴史・理念を学習することができる



04 研修プログラムの一例

1年次	内科	外科	小児	産婦	精神	救急	麻酔
	24週	4週	4週	4週	4週	8週	4週
2年次	地域	選択(院内)	選択(自由)				
	7週	9週	36週				

北上済生会病院

〒024-8506 北上市九年橋三丁目15番33号
 TEL 0197-64-7722
 FAX 0197-64-2666
 E-mail info@saiseikai-hp.or.jp
 HP http://www.saiseikai-hp.or.jp
 院長 一戸 貞文



06 岩手中部 岩手県立中部病院

See one, Simulate one, Do one,
Reflect one, Teach one!

01 病院データ

標榜診療科	28科	宿舎	研修室の様子
病床数	434床	病院に近い。 家賃1万円程度。 エアコンが新しい。	
医師数	85人 (常勤/2023年4月1日現在)		

02 病院の特色

当院は中部地域の広域基幹病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院として、主に急性期医療を担っています。さらに地域の医療機関と連携し、がん診療、がん緩和ケア、周産期医療、結核・新型コロナウイルスなど感染症への対応にも力を入れて良質で安全な医療の提供を心がけています。



中部病院イメージキャラクター「えくなるズ」

03 研修の特徴

募集人数 12人

募集定員12名。ベッド数400とほどよいサイズ感で、多くの患者さんを経験できます。総合診療科・緩和ケア科を必須ローテーションとしています。2022年度の臨床研修医1人あたりの超過勤務は平均576時間(最小415・最大792)で働き方改革で示された960時間以内でした。

医療人の基本規範である、患者さんのケア・患者さんの自律尊重・正義公平の3つを体に染みつけ、病院の基本理念「心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する」にベクトルを合わせ、誠実さ・思いやり・情熱を大切に研修を行っています。医療人として、自分の振る舞い・スタンスを常に振り返り、さらなる高みを目指してゆく、すなわち医のプロフェッショナリズムを実践します。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科系	総診	麻酔	小児	外科	外科系
	4週	24週	4週	4週	4週	4週	8週
2年次	産婦	緩和	精神	地域	総診	病理	自由選択
	4週	4週	4週	4週	4週	2週	30週

岩手県立中部病院

〒024-8507 北上市村崎野17地割10番地
 TEL 0197-71-1511
 FAX 0197-71-1414
 E-mail chubu_rinken@pref.iwate.jp
 HP http://www.chubu-hp.com/
 院長 吉田 徹



07 岩手県立胆沢病院

肉食系研修医大募集!
「プロフェッショナル」になりたいか?

01 病院データ

標榜診療科	23科	宿舎	借上げアパートへの入居が多い。病院から近く、築浅の物件もあり。
病床数	346床		
医師数	71人 (常勤/2023年4月1日現在)		



02 病院の特色

岩手県立胆沢病院は、岩手県南部に位置する人口12万人の奥州市にあり、金ヶ崎町を合わせた胆沢医療圏(約13万人)の広域病院である。東北自動車道奥州スマートインターから車で3分、敷地内へリポートも有しており、救急搬送のアクセスが極めて良い。受け入れを断らない当院は、救急搬入数は県立病院で第3位、新患の紹介も含め症例数が豊富である。専門医療においては各科2次医療圏を超えた範囲からの紹介も受入れており、症例数は雑誌にも取り上げられている。教育病院として歴史があり、院長をはじめ多数のスタッフが当院で臨床研修を受けたOBである。皆が教える精神を持っており、診療科の壁は低く、臨床研修医もスタッフもそれぞれ相談しやすい。医師全員が顔と名前を知っているサイズ感とアットホームな雰囲気の病院である。中規模病院ではあるが、ダビンチ手術や脳血管内治療、消化管内視鏡治療などの先進医療にも積極的に取り組んでいる。組織横断的活動も盛んであり、災害医療などにおいては県内有数の施設となっている。

03 研修の特徴

募集人数 8人

必修は内科(消化器内科、循環器内科・血液内科、呼吸器内科)24週、外科、麻酔科を各8週、小児科、産婦人科(院外)、精神科(院外)、地域医療(院外)を各4週、病理(院外)1週。また、脳神経外科、脳神経内科(院外)、整形外科のうち1診療科以上を選択必修とする。院外必修診療科は8週まで可。9週以上選択したい場合は選択診療科として研修する。自由選択では、当院にない診療科を県内の他病院で12週まで研修可能。

自分のなりたい医師像に合わせて、自分でローテートする診療科および期間、目標を決めてもらう(オーダーメイド研修)。基本的にローテート期間は2カ月以上をお勧めしている。なぜなら、4週の研修では分かったつもりになるが、実際には責任を持った診療ができずに終わるからだ。臨床研修医が本当に成長するのは2カ月目からである。患者の把握、理解が進み、より適切な指示が出せるようになる。3カ月目には主治医と同等に任せられるレベルになる者もいる。そのため、4週ごとに細かく多数の診療科をローテートすることはお勧めしていない。手技などを多く経験し、責任ある診療に当たってもらう。特に最初の診療科は3ヶ月以上ローテーションし、病院に慣れ、診療の基本を修得してもらう。短時間で覚えた知識は、数年後には古びたものになる。しかし、十分なコミュニケーション能力、診療の戦略性、自ら知識をアップデートする能力を身に付けられれば、どの専門分野に進んでも、どこかの病院で働くときでも「使える力」になると考える。初期研修の目標は、スーパー医学生になるのではなく責任のある医師になることである。当院では医師としてのプロフェッショナリズムを養い、自律していくことを最大の目標としている。

希望に応じて相談の上、3年目もローテート研修を継続することが可能である。プライマリケアに熟達する、もしくは将来志望する診療科に進む前に他の技術・知識を身に付ける、あるいは主治医として研鑽を積みながら専門とする診療科を決めるなど、将来幅をもった医師として活躍するためのオプションである。早く専門医になることだけが全てではないと考えている。



懇親会の様子、肉食系研修医募集中

04 研修プログラムの一例

1年次	循環器内科	小児	麻酔科	外科	消化器内科	泌尿
	16週	4週	8週	8週	12週	4週

2年次	整形	脳外	精神	地域	呼吸器内科	産婦	画像	肝臓	総診	消化器内科
	4週	4週	4週	4週	8週	4週	4週	4週	4週	12週

※内科系志望研修医のローテート事例

岩手県立胆沢病院

〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地
TEL 0197-24-4121
FAX 0197-24-8194
E-mail isawarinsyoukensyu@gmail.com
HP http://www.isawa-hp.com/
院長 郷右近 祐司



08 岩手県立磐井病院

地域の皆様に納得のできる医療を提供する

01 病院データ

標榜診療科	24科	宿舎	病院から約3分! 2K、バス・トイレ別 宿舎料(共益費込み) 13,320円/月
病床数	315床		
医師数	69人 (常勤/2023年4月1日現在)		



02 病院の特色

当院は、岩手県最南端の一関市にある24の診療科を標榜する地域医療支援病院であり、岩手県南と宮城県北までの約15万人の医療圏での急性期医療・専門医療を中心に診療を行っています。

日本人の3大死因であるがん、心筋梗塞、脳卒中については、がん診療では地域がん診療連携拠点病院として各診療科による専門診療に加え、画像診断科、放射線治療科、化学療法科、緩和医療科などを交えた横断的診療を行っており、心筋梗塞や脳卒中についても、カテーテル治療や手術を含め各診療科による急性期診療を行っています。

また、産婦人科・新生児科による周産期、新生児診療や救急科による救急診療についても、それぞれ専属の常勤医師を配置し、地域医療に貢献していることが評価され、2017年度には「自治体立優良病院」として総務大臣表彰されました。

03 研修の特徴

募集人数 8人

1. On The Job Trainingで多数の実経験を積む

初期研修の時期から患者さんに直接触れて診療を行うことを重要視しています。病棟では担当医として日々の回診や診察を行うことはもちろん、外来では再来のほかに新患も受け持って診断や治療を担います。各種検査や処置、手術においても術者や助手として診療に加わり、手技を積極的に経験することを推進しています。



2. 最短で専門医資格をとる

初期臨床研修制度の基本概念であるプライマリケアの習得を積極的にはかりつつ、さらに初期研修終了後の後期研修(専攻医研修)へスムーズに繋がるように、初期研修期間中の診療科研修の自由選択期間を長く設定しています。また、新専門医制度に対応した各種学会の専門医認定施設の整備も、積極的に行っています。

3. 2年次で救急外来を仕切る

救急外来での救急診療科研修では、1年次前半は副当直として経験を積み、1年次後半からは日当直医として、更に経験を重ねます。2年次には患者を診るだけでなく、救急外来全体をマネジメントできるように、スキルを獲得していきます。



4. 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

患者や家族に対する共感、思いやりの精神を涵養し、同僚の医師や看護師をはじめとするメディカルスタッフとのコミュニケーションを密にとり、多職種連携を意識した診療を積み重ねて、医師としての望ましい態度を形成していきます。

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科系	救急	外科	麻酔	選択
	2週	24週	4週	8週	4週	10週

2年次	産婦	小児	精神	地域	選択
	4週	4週	4週	4週	36週

※GW、年末年始の連休期間等は、1ブロック5週となる場合がある。

岩手県立磐井病院

〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17番地
TEL 0191-23-3452
FAX 0191-23-9691
E-mail iwaihp@yahoo.co.jp(臨床研修センター)
HP http://www.iwai-hp.com/
院長 佐藤 耕一郎



09 けせん 気仙 岩手県立大船渡病院

優しさ信頼のある医療の実現
Greet (挨拶する) Thank (感謝する) Respect (敬意を払う)

01 病院データ

標榜診療科	21科	宿舎	病院から徒歩5分
病床数	489床	研修室の様子	
医師数	43人 (常勤/2023年4月1日現在)		

02 病院の特色

当院は本院469床(一般370床、精神105床、結核10床、感染4床)に救命救急センター20床を併設した岩手県沿岸南部唯一の広域基幹病院です。救命救急センターでは気仙地域の救急医療を一手に担い、昼夜を問わず一次から三次のあらゆる救急患者に24時間体制で対応しています。

また、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院としての役割も担っています。地域の人々が安心、そして信頼できる医療の実践を目指して、情熱のある医師や臨床研修医、そしてスタッフが全力で診療とケアにあたっています。

03 研修の特徴

募集人数 7人

「優しさ信頼のある卓越した臨床医の育成」を研修理念とし、プライマリ・ケアを中心としたプログラムです。特に救急医療に積極的に取り組んでおり、臨床研修医もチーム医療の戦力として積極的な診療ができる実践的な環境となっています。また、関連する診療科とのコンサルテーションや協同診療など、医師として必要な協力的姿勢を身につけることを目標にしています。

1年次の6月から月に4~6回、救急外来の日当直に入ります。上級医の指導のもと、軽症から重症患者までの幅広い初期対応が学べ、臨床研修修了後にどの分野に進んでも生きる力を身につけることができます。

自由選択を44週とし、外科系、内科系問わずできるだけ希望に沿った科目を習得できるよう、自由度を持たせたローテートを提供しています。年度途中でのローテート変更も可能です。

2年間の臨床研修修了後の進路は自由であり、県内の様々な専門研修プログラムの連携施設となっています。



04 研修プログラムの一例

1年次	オリエンテーション	内科	外科	救急	精神	小児
	4週	24週	4週	12週	4週	4週
2年次	産婦	自由選択	地域	自由選択		
	4週	20週	4週	24週		

岩手県立大船渡病院

〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越10番地1
TEL 0192-26-1111
E-mail rinkin@pref.iwate.jp (総務課・臨床研修担当)
HP http://oofunato-hp.com
院長 中野 達也



10 みやこ 宮古 岩手県立宮古病院

地域の皆様の健康と命を守るため、良質な医療の提供、信頼され親しまれる病院、働き甲斐のある病院づくりを目指しています。

01 病院データ

標榜診療科	20科	宿舎	病院から徒歩1分以内
病床数	334床	研修室の様子	
医師数	33人 (常勤/2023年4月1日現在)		

02 病院の特色

当院は、1市3町村、人口約7.5万人の医療圏域内で、唯一急性期医療を担う広域基幹病院です。本州最東端に位置しています。

夜間及び休日は、全診療科がオンコール体制を敷いて救急医療体制を支えています。救急センター化はされていませんが、1次から3次までの多くの救急患者を受け入れ診療しています。そのため地域の救急医療を一手に担っていますので、様々な症例を経験できます。また、勤務医の数が少ないことから、診療科ごとの垣根が低く、各科の協力体制が確立されています。

03 研修の特徴

募集人数 5人

- 研修診療科の途中変更なども含めプログラムの自由度が高くなっています。
- 症例の取り合いがなく、自然に多数の経験を積めることから、医師としての腕力をつけることができます。
- 研修医報告会で症例提示を行い、発表のノウハウも身につきます。
- 1年次の当直は22時までの半当直となり、身体的負担が少なく、振り返りなどをしながら実力をつけ、2年目からは上級医とともに当直に入ることとしています。
- 当院の臨床研修医になりながら、社会人大学院に入学することも可能です。
- 専門研修は、臨床研修医のニーズに合わせて随時相談を受けており、いままでも産婦人科、外科、消化器内科、麻酔科、他科ローテート継続などの実績があります。また、当院が基幹施設となる「いわて三陸海岸連携内科研修プログラム」で内科専門医を目指すこともできます。
- 研修医室が整備されており、上級医に気兼ねなく休憩できます。
- 地域医療研修で、名古屋大学や東北大学などからも研修医を受け入れています。
- レディースルームも設置しており女性医師も働きやすい環境となっています。



04 研修プログラムの一例

1年次	内科+オリエンテーション	外科	救急	小児	産婦	選択	選択
	25週+2週	4週	4週	4週	4週	4週	5週
2年次	地域	精神	自由選択				
	4週	4週	44週は4週を1単位として選択診療科での研修を行う				

岩手県立宮古病院

〒027-0096 宮古市崎ヶ崎第1地割11番地26
TEL 0193-62-4011
FAX 0193-63-6941
E-mail EA1005@pref.iwate.jp
HP http://www.miyako-hp.jp
院長 川村英伸



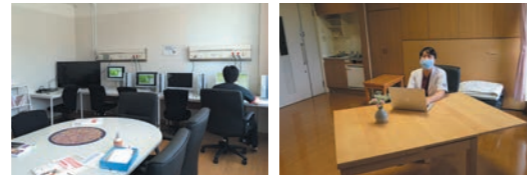
11 久慈 岩手県立久慈病院

地域の人々の命と健康を守り、信頼される病院を目指す

01 病院データ

 標榜診療科	20科	 宿舎	1LDK (エアコン、wifi完備)
 病床数	334床		
 医師数	31人 (常勤/2023年4月1日現在)		

研修室の様子



02 病院の特色

当院は三陸復興国立公園の北部、久慈市北東部に位置し、人口約5万5千人の久慈医療圏に唯一の総合病院です。平成10年3月に救命救急センターを併設して現在地に移転新築し、ドクターヘリを受け入れるなど高度急性期医療から地域包括ケア病棟などの回復期医療まで、地域完結型の病院として安全で質の高い医療を提供しています。

高度な医療機器を整備するとともに、救急専門医のほか、各診療科の専門医が多種多様な患者の診察にあたっています。また、地域がん診療連携拠点病院として、がん治療認定医が4名おり、質の高いがんの診断、治療に取り組んでいます。

03 研修の特徴

募集人数 5人

- 1診療科に臨床研修医が1名から最多2名とし、密度の濃い研修が受けられます。
- 1年次の当直は当初、3人体制で始まるので、指導医から教育を受けながらスムーズに研修に入ることができます。
- 臨床研修修了後の進路に対する制約はありません。
- 当院の救急車受け入れ要請受諾率は99.9%です。そのため、様々な疾患のファーストタッチを担うことができます。
- 臨床研修医全員がBLS、ACLSのプロバイダの資格を取得でき、希望があればJATECを取得できます。
- 自由選択科目は48週と長いので、研修医の希望に沿ったプログラムを組むことが可能です。
- 各診療科間の垣根が低いので、相談などがしやすい医局です。
- 歓迎会、納涼ビール列車、ピンポン大会など、楽しい行事がたくさんあります。



救急症例検討会の様子



救急センター

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ	内科	精神	外科	小児	産婦	救急
	2週	26週	4週	4週	4週	4週	8週

2年次	地域	選択
	4週	48週

岩手県立久慈病院

〒028-8040 久慈市旭町10-1
 TEL 0194-53-6131
 FAX 0194-52-2601
 E-mail kujihp.kensyu@gmail.com
 HP http://www.kuji-hp.com/
 院長 遠野千尋



12 二戸 岩手県立二戸病院

地域に愛され、地域と共に

01 病院データ

 標榜診療科	18科	 宿舎	単身・ファミリーどちらにも対応可能な公舎あり。いずれも徒歩2分以内。
 病床数	230床		
 医師数	32人 (常勤/2023年4月1日現在)		

研修室の様子



02 病院の特色

当院は、岩手県内陸北部と青森県南部の一部を診療圏とする、この地域唯一の総合医療機能を有する中核病院で、圏域内の県立病院や開業医と連携しながら地域完結型の医療提供を行っています。当院では、この圏域の救急医療の大半を一手に引き受けており、心疾患、脳疾患をはじめとした各分野の専門医体制による急性期医療を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院としての役割も担っています。また、在宅医療や保健医療福祉連携にも力を入れており、医師臨床研修、看護・医療技術系学生などの教育・研修にも積極的に取り組んでいます。

03 研修の特徴

募集人数 5人

この地域は人口あたりの医師数、医療施設数ともに県平均、全国平均以下(約半分)であるため、急性期から回復期まで多様な症例を数多く経験することができます。また、1診療科研修医1名体制(同年次)をとっているため、指導医・上級医とじっくり向き合いながら密度の濃い研修を受けることができます。

地域との繋がりが強い当院ならではのユニークな取組みとしては、二戸消防署の救急隊が通報を受けた際に、病院に待機している救急隊(救急車)が臨床研修医と共に現場に出動し救急活動と一緒に「救急車同乗研修」などがあり、病院へ到着するまでの一連の流れを経験することができます。

医局内の雰囲気、まともにも大変良く、研修中の診療科の指導医以外にも気軽に相談することができるなど、研修を行うには最適な環境であり、また、盛岡市まで新幹線で約20分という立地も岩手医科大学社会人大学院生として入学する場合や、学会・研修会参加の際に非常に便利です。

また、先輩に教えることで自分の力をつけていくことを推奨し、研修医同士で勉強会を開いたり、アットホームな雰囲気の中にもメリハリのある研修生活を送っています。



救急車同乗研修



ラボトレーニング



縫合トレーニング

04 研修プログラムの一例

1年次	オリ(選択)	内科	救急	麻酔	外科	小児	産婦	精神
	4週(1週)	24週	4週	4週	4週	4週	4週	4週

2年次	地域	選択
	4週	48週

岩手県立二戸病院

〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛38番地2
 TEL 0195-23-2191
 FAX 0195-23-2834
 E-mail ea1014@pref.iwate.jp
 HP http://www.ninohe-hp.net
 院長 小笠原 敏浩



Iwate Guide

東京から2時間10分。見て、味わって、
本物の豊かさを知るイーハトーヴ紀行

平泉、釜石、一戸と三つのユネスコ世界遺産があり
山と海を代表する二つの国立公園や
自然と文化に恵まれた広い県土には
四季折々に美しい見どころと共に
山・里・海的美味たちが揃う...
イーハトーヴいわてに「ようこそ」

盛岡に着いたらまずチャレンジ!
盛岡三大麺



わんこそば



盛岡冷麺



盛岡じゃじゃ麺



▲中尊寺金色堂(新覆堂)
平泉を代表する仏堂、ユネスコ世界遺産



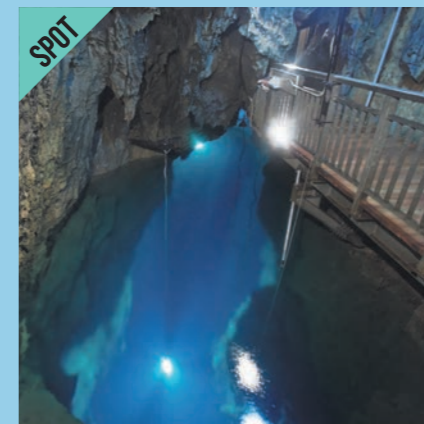
▲御所野縄文遺跡



▲安比高原スキー場 東北を代表するスキー場。
例年12月上旬から5月上旬まで滑走が可能



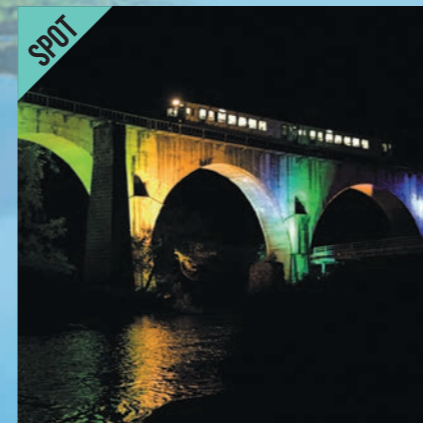
▲石割桜 巨石を割って咲く天然記念物



▲龍泉洞
日本三大乳洞の一つ、天然記念物。地底湖が神秘的



▲北山崎 海のアルプス。北部陸中海岸の代表的な景勝地



▲めがね橋 「銀河鉄道の夜」のモデルになった橋



▲遠野
柳田泉男の「遠野物語」で知られる民話のふるさと



▲橋野鉄鉱山・高炉跡 明治日本の産業革命の一端を担う。
2015年ユネスコ世界遺産に登録



▲盛岡さんざ踊り 盛岡市とその周辺地域に踊り継がれてきた伝統さんざ踊り。そのパレードは圧巻です



▲前沢牛 奥州市前沢産の全国的なブランド牛



▲岩手の海産物 世界三大漁場の一つ、三陸の海が目の前に。鮮度・味・バラエティに納得